



# 東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: https://www.asachu-rc.jp



R.I. 会長 ジェニファー・ジョーンズ 地区ガバナー 嶋村文男

## 2022 - 2023 年度テーマ

クラブテーマ 「 前 進 」

クラブ会長 伊石佳高

### 本日の例会 (卓話)

「地震保険の重要性」

損保ジャパン 東京支店課長 湯澤 玲 様

### 今後の例会 (卓話) 予定

12/7	「未 定」	青木伸翁 様
12/14	会員卓話	田村順二 会員
12/21	クリスマス家族会 (夜間)	
12/28	定款休会	



2022年11月30日

第1719回例会

会長 伊石佳高

幹事 立野秀一



12月結婚記念日

3日 (54周年) 中村ご夫妻 ・ 10日 (33周年) 伊石ご夫妻

### 前回 (11/16 1718 回例会) の記録

#### 来 訪 者 紹 介

- ◆ゲスト 1名 元青少年交換留学生 山本絵理 様
- ◆ビジター 0名

#### 出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修 正 出 席 率
47名	2名	7名	34名	5名	100%	

※2023年2月第1例会まで、新型コロナウイルス対策ガイドラインに則り、全員出席扱いとさせていただきます。

### 会長挨拶 <伊石会長>

- ・皆さんこんにちは。本日は久々の炉辺会合報告会となります。テーマは『クラブビジョンについて』です。A~Fグループの発表者の皆様、どうぞ宜しくお願い致します。
- ・本日は特別ゲストとして2010年~2011年度の第46期青少年交換留学生の山本絵理さんにお越し頂きました。山本さんはハンガリーに交換留学生として行かれその際にピアノを学ばれ今はプロのピアニストとして輝かしい実績をお持ちです。自己紹介を兼ねてご本人よ

りお話を頂きたいと思います。山本様、どうぞ壇上にお上がりください。ありがとうございました。



山本絵理様

## 幹事報告<立野幹事>

①先週の理事役員会にて、出席免除期間が

来年2月第1例会まで延長が承認されましたので報告いたします。

## 委員会報告

<職業奉仕委員会 藤掛委員長>

- ・ガバナー月信11月号掲載 シリーズ「奉仕の理念」コラム  
ガバナー月信10月号に8月より掲載の「シリーズ 奉仕の理念 第4回」が掲載されています。皆さまのポケットにコラムのプリントを入れましたのでご覧頂ければと思います。奉仕の理念は「相手を思いやり、相手のために尽くす心」であると言われます。

決議23-34はこの「奉仕の理念」を明確に定義し、ロータリアン、ロータリークラブ、国際ロータリーの在り方、そして全ての奉仕活動の指針が述べられています。紙面の関係で細かい内容までは書けませんでした。なぜ決議23-34ができたのか、その経緯を記しました。ロータリーを学ぶきっかけとして頂ければと思います。今回はこの「奉仕の理念」を私達だけでなく、次世代を担う方々に繋いでゆく意義について述べる予定です。

<ロータリー希望の風奨学金支援委員会 土師委員>

- ・ロータリー希望の風においては、東日本大震災で親を亡くされた子供達への支援活動として、チャリティーコンサートを開催する運びとなりました。その登録料の一部が支援に充てられます。

日時：2023年3月10日(金) 17:30 (17:00開場)

会場：すみだトリフォニーホール

墨田区錦糸1-2-3

登録料：1名6,000円(オンライン視聴3,000円)

あの震災から来年で12年となります。趣旨にご賛同賜り、是非皆様お誘い合わせの上にご来場頂きますようお願い致します。

申込・お問い合わせは土師まで。

<親睦・出席委員会 中橋副委員長>

- ・12月21日に開催しますクリスマス家族会の案内状を順次発送いたします。お手元に届き次第内容をご確認の上、奮ってご参加ください。会費は会員2万円、ご家族1万2千円とさせていただきます。11月30日の最終例会より出欠を取りますので宜しくお願いいたします。

<国際奉仕委員会 斎藤委員長>

- ・2023年国際ロータリーメルボルン大会の参加募集パンフレットを配布しました。不明な点等ありましたら、私まで問い合わせ下さい。

<元米山カウンセラー 高木会員>

- ・元米山奨学生のフセイン君が、本日BSテレビ東京の「ワタシが日本に住む理由」という番組に出演されるそうです。今晚7時55分から放送されます。是非ご覧ください。

## ニコニコボックス

<伊石会長、立野幹事>

- ・山本絵理様、本日の演奏楽しみにしております。

<伊石会長、立野幹事>

- ・本日は炉辺会合報告会です。担当の方々宜しくお願い致します。

<本間、五十嵐、片岡、宮崎、長沼、中橋、太田、斎藤、佐藤、関原、上野、渡辺、山尾>

- ・山本絵理様、本日の演奏楽しみにしております。

<江連、藤掛、後上、土師、伊藤、松本、中村、大塚、園部、高木、上原、潮田>

- ・本日は炉辺会合報告会です。担当の方々宜しくお願い致します。

<後上、片岡>

- ・東北復興支援継続を!!

<内田>

- ・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

## 炉辺会合報告会

テーマ：クラブビジョンについて

Aグループ

報告：松丸会員

メンバー：小林（リーダー）  
潮田、吉沼、五十嵐、松丸（書記）  
ゲスト：斉藤、常見、伊藤、中橋



ガバナーは色々なガバナーがいて、それによって年度の動きが変わってくる。例えば基本PETSがあってから会長・幹事が動き出すが最近ではガバナーの方針により、その前から早く動き出しているのでは、2年間近く拘束されて動いている。そのあたりについて聞いてみたが、最近では準備期間が長くなっているとの回答でした。

## 私の印象に残る奉仕活動

- ・カンボジアの日本語学校支援 地雷除去の大切さも学んだ
- ・浅草の観音様まわりを実際に車椅子で動きバリアフリーマップを作る
- ・留学生を預かる（何よりも奥さまの理解が必要）
- ・隅田公園に彼岸花とか梅の木を植えた

ロータリーには色々な奉仕活動がある、それをこの先どう行っていくか？  
クラブの財政についての見直し（綺麗ごとはいってられない現状）

まずは最低限会員を50名は上回るように持っていかなきゃいけない。

コロナの影響もありクラブ内で会員の方と話す機会が減った。

原点に立ち返る。ポールハリスがそれぞれの仲間を呼んで悩みや仕事の相談等して親睦を深めていったように、なごみの場だけではない、商売に通じる何かを行ないながらクラブ内の輪を広げたい。

外からみたロータリーを大切にする、地域性を大事にする、浅草の地で浅草ロータリー、浅草中央ロータリーが浅草の人達に知られているクラブ、高評価を受けているクラブにしたい。

この先の若い人達はロータリーに入らない、コロナ過に立ち上がり今すごい勢いで拡大している真誓会のような団体を研究して向こうの良いところは取り入れる柔軟性がないと、更に加速して40代50代の経営者はみんな流れるだろう。

浅草中央ロータリークラブに危機感を感じている。今まではメイクアップの時に浅草中央クラブの良さがわかった。現在は他クラブが頑張っているのを逆に感じてしまう。

2580地区だけ地区ビジョンがなかった。近い将来ビジョン委員会を現会長・幹事、次年度会長・幹事、チャーターメンバーで立ち上げることになるだろう。

そこで3年後、5年後の当クラブの未来を真剣に考えなければならない。

当クラブも会員は60名が理想、新しい人が入ってくることによって色々な活動ができる。例会に行ったら必ず何かを勉強、仲の良い人達だけで村みたいになっては駄目。しっかりと親睦。メイクアップの方々等々のおもてなし。

改めて例会を見直す。

奉仕に関してもフラフェス、ちびっ子フットサル、他に何ができるか？各委員会で考える。やる、やらない別にしてアイデアを出そう。

## ＜まとめ＞

ロータリーは色々な他業種の人材の集まりであり各々の会社のビジョンがある。まずは経営者として「売り手よし、買い手よし、世間よし 三方よし」の精神で経営をされていることが大切だと思います。魅力ある会社、魅力ある経営者が集まると自然と良い人材があつまりよいクラブができます。メンバー一人一人の質の向上が何より大切で基本であると考えます。クラブの活性化はそこに集まる人材の質によるものであり、その点では浅草中央RCは良い人材に恵まれていると思います。これからも様々な面で質の向上を目指してゆきましょう。

メンバー：上原（リーダー）  
岩戸、渡辺、土師、園部、立野、桜井、中橋、伊藤（書記）

まずは、この会のメンバーに出会えた事に、参加した皆が感謝している事をお伝え致します。

それでは、Bグループの趣旨を報告致します。

ロータリークラブは、各業種の代表者が集い、意見を交わし、自己研鑽と社会奉仕の感覚を育てていく（身につけていく）社交の場です。

この会員の社交の場を通して、先輩方から学び、人生と仕事に活動を生かしていく事が出来るようにしていきたい。また、それを継続していく事が大切だと思います。

現在、第2580地区のHPの会員募集欄を見ると、入会の対象者は「地域社会に貢献したいと考えている方を求めています。」とあり、また、女性会員の活躍と「ロータリーでは多様性、平等さ、開放性を重視しています。

ロータリーは、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景をもつ人の貢献を称え、迎え入れます。」と、門戸の広さをアピールしているような感じを受けますが、これでは、入会を希望する人は単なるボランティア団体のように捉えられてしまうと思います。

こうした流れの中で、各クラブの規律は外側から緩められ、多くのクラブがその流れに乗ってクラブとしての魅力を失っていくように見えます。

しかし、当浅草中央ロータリークラブでは、そのような安易な規律の緩和に便乗せず、昔からあったロータリーで有り続けようとしています。確かに、仕事でも、時代においても変わらなければならない状況ではありますが、その一方で、変わらない事が魅力につながる事もあります。

当浅草中央ロータリークラブは、5年後、10年後も、変わらない、変わる必要の無い魅力的なクラブであって欲しいと思います。

その他、Bグループ「炉辺会合」で出た「意見及び発言」 （順序不同）

1. 浅草中央クラブに欠けているもの・抱えている課題

- ・当クラブの基盤（原理原則）を学びそして大切にしなければならないが、柔軟な対応も必要だと思う。その為に、何をすれば良いのか、何をしていくのが良いか、皆と検討していきたい。変わるもの、変えられないもの、をもっと話し合っていきたい。
- ・メンバー各々の能力、個性を伸ばす事が大切だと思う。  
その為に、もっと積極的に出会う機会、話し合う機会を設けて良いと思う。
- ・今回の「炉辺会合」のように少人数によるディスカッションの場をもっと設けて良いと思う。時間が限られた中でも、積極的な会話が出来、様々な意見を交わせたのは良かった。また、これで議論が終わりでは無く、より深く議論をしていく事が大切と考える。

尚、Bグループ「炉辺会合」はお昼に行ったが、非常に有意義な会合が出来たので、昼間の会合を増やしたら良いのではと言う意見が多かった。

- ・皆の前で話す事が大切で、その機会を与える事も大切。
- ・メンバー各々の経験の有る話は有意義なので、話す（発表する）場が多いと良い。
- ・仕事等の情報交換をもっとしても良いと思う。
- ・気持ちが良い事は、メンバーに伝えていきたい。また、伝えて欲しい。
- ・一般社会へのアピールをもっとしても良いと思う。



2. 職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕
  - ・社会奉仕等の活動に関心を持ち、メンバーの皆で議論及び検討する事が大切。  
そして、その活動を継続することも大切。
3. 単年度主義
  - ・事業の単年度主義はどうか、継続していく事も必要ではないか。
4. 会員増強
  - ・只、増やせば良いという事では無く、メンバーに相応しい人で有るかで判断すべき。
  - ・女性会員は認めないという意見も有るが、メンバーに相応しい人で有れば、性差に関係なく受け入れて良いと思う。
  - ・入会審査はもっと透明性をもってメンバーと協議し、判断する事が大切だと思う。
5. 一業種一会員
  - ・一業種一会員は、原則として守る事が大切だと思う。
6. その他
  - ・卓話は勉強になる。
  - ・ここでしか会えない人との出会い、繋がりを大切にしたい。（複数）
  - ・スーツを着るのが大変、服装に制約は有るのか。

## Cグループ

報告：伊石会長

メンバー：古谷（リーダー）  
長沼、伊石、江連、関原、太田、大塚、澤野（書記）



### 【会合結果要旨】

- ア マンネリ化を打破して、新しい取り組みをしていく。例えば、趣味の領域を共有し、会員相互の親睦を図る。
- イ 当クラブの良い所は今後も継続させる。会長経験者も率先してタスキをかけ、各委員会の仕事をしている、クラブ在籍年数の長い会員が威圧するようなことがないという点も良いところである。
- ウ 自クラブの例会だけでなく、他のクラブの例会にも参加してみると、例会のあり方、クラブのあり方につき考える良い機会となる。
- エ 休会の数を減らす工夫が必要。財政的に困難であるのならば、それを克服する工夫が必要。会員増強、会費の改定など。
- オ 会員増強が必要である。二世会員、女性会員への声かけを実施してはどうか。ロータリーは、もっと開かれたものでなければならない。例会へのお試し出席を多く導入したらどうか。
- カ 例会出席の遵守はロータリアンの基本的義務である。その他にゴルフ、旅行会、食事会等に参加して他の会員との親睦を図ることも重要である。仕事等で時間がとれず、親睦活動に参加できない会員もいるので、そのためのフォローが必要。例えば、メールやライン等のSNSを利用した親交も考えてよいのではないか。他のクラブの人とのやりとりも可能にしたらどうか。
- キ 義務だけを強調するのではなく、本来的なロータリーの魅力を知ってもらうことが肝要。そのために数名のグループに分け、各グループにロータリーの基本理念に通じた人をおき、短時間の勉強会を開いたり、例会のときに必ず声を掛け合うなどのシステムを構築したらどうか。人は理念に惹かれる前に、魅力的なロータリアンに惹かれる面がある。

## Dグループ

## 報告：本間会員

メンバー：藤掛（リーダー）  
後上、上野、本間（書記）  
（欠席・海内、大塚、鶴原）



（強味・弱み）

- ・クラブ会員同士いろいろな面で「助け助けられる」関係がとても良い。
  - ・会員同士で みな真剣に「本来あるべきロータリーについて」話しをしてるのを見かけるところがすごい。
  - ・地区には地区独特の世界がある。でも地区よりもクラブの方が主体。
  - ・ロータリークラブは非常に分かりにくい部分があるが「クラブの意思決定は理事会にある」のでロータリーの目的に反しなければ色々できる。
  - ・何事もみな一生懸命になって活動を続けているように感じる。
  - ・現在のロータリーの活動は対外的なイメージで考えると単年度制は難しい気がする
- （ロータリーの中核は親睦。）
- ・少し高齢になりボケ防止のために参加するかんじになっているので、周りの人たちに迷惑が掛からない程度に参加しています。
  - ・息抜きの感覚で友達作りで楽しんでいます。
  - ・ロータリーの会員同士は平等なので「くん」付けや「さん」付けで呼ぼう。

## Eグループ

## 報告：片岡会員

メンバー：中村（リーダー）  
宮崎、高木、佐藤、片岡（書記）



- ・一般的にはボランティア団体のイメージが強い当クラブは、本来 職業奉仕が基本であるものの、この様な期待にも充分応えるのであれば、社会活動機会の増設と遡及力のある発信・事業計画が重要。一方、団体奉仕が故の強制感や意見の齟齬から阻害感を生まない配慮が必要との意見が御座いました。
- ・当クラブの職種、世代を超えた交流を通じて、各会員 個人の中に在る多面性の相互理解を図るため、年に数回の夜間例会や旅行会を介した家族会の開催のご提案が御座いました。また 和を大切にされる方を大事にしながら、現状の50名前後の会員数を維持し、職種、世代構成に偏らない、理想的な人間関係を目指すことが重要との意見が御座いました。
- ・近年、M&Aやグループ統合 等 従来に無い事業展開が増えているため、既存の職業分類で対応しえるか検討の準備が必要との意見が御座いました。また事業承継に因る後継者のスムーズな入会に繋ぐよう、現会員 入会金の預り金扱い、と共に事業承継を終えた方が引き続きクラブに関与できるよう、職業奉仕の観点から入会資格や特例措置等について意見が御座いました。

### 【まとめ】

今回の会合では一業種、一社の重みについてのお話を伺い、自らの職種の代表者としての自覚や、それに見合う発言と行動について触れて頂きました。  
自社の発展のみならず、自身に依る奉仕の切掛けに繋がる経験をこれからもクラブの交流で得られるよう、ご指導 頂けますようお願い致します。

メンバー：斎藤（リーダー）  
原田、浜中、内田、高橋、田村（MU）、常見（書記）



- ・ここ2年間はコロナの影響もあり、メンバー同士のコミュニケーションを図る場が少なかった。限られた時間の例会だけでは親しくなるにも限界がある。炉辺の良さは様々なメンバーと意見交換が出来ること、スキンシップを図れること。
- ・コロナがまん延した当初、様々なものが不足した際にメンバーの紹介で商品調達することがあったが、これもある意味職業奉仕だと思う。  
職場見学など含め、良いことは臨機応変に対応することが大切。変化の激しい時代においては旧来の考え方に固執するだけでなく、新しいことを積極的に取り入れ変って行くべき。
- ・ロータリー歴も違う、年齢も違うメンバーが集まっているので、将来のビジョンについて考えることは個々の思い入れなどもあり簡単ではないが、このようにテーマを与えられて話し合う機会である炉辺会合は貴重な場。  
コロナ禍で大変ではあるが、委員会や各種同好会など含め、皆で集まり意見交換、親睦を図る機会を増やしていきたい。
- ・親子ほど年が離れた幅広い年齢層がメンバーとなり共に活動するのはロータリーの特徴であり、良さでもある。
- ・炉辺などを通じてメンバー個々のエピソードなどを語り合うことで、例会では知ることの出来ないお互いの仕事やプライベート、考え方などを知り相互理解が深まる。
- ・現在の例会の手順や式次第などは昔からこのようなやり方だったのか？  
以前から決められたルールで行ってきているが、ルールに則るがゆえに面白みがなく感動がないという面もある。会員同士がよりコミュニケーションが取りやすいように例会運営なども工夫していく必要がある。
- ・以前は様々なイベントに奥さんが参加する、奥さん同伴ということが当たり前だった。奥さん同士も仲良くなりサークルを作って行動していた。そのようなことを通じてロータリー活動を理解してもらい、ロータリーのファンになってもらった。  
環境やジェネレーションが変わる中、過去と同じようにはいかないが、このような時代を経てきたことを知ること大切である。一方で昔と同じことをしていたらロータリーは生き残っていけない。

#### 【まとめ】

将来的に当クラブがどのように進んでいくべきか、しっかりとしたビジョンを作るということも重要だが、幅広い年齢層、様々な職種の会社の代表者が集まる中で、まずは相互理解を深める機会を増やしていくことが大切。その上で会社が変わっていかないと生き残れないのと同じように、従来の考え方ややり方に捉われることなく、課題や今後の方向性を見出し、変わらず続けること、変えるべきことなどしっかりと議論していく必要があると思います。